

# 福祉BCPのススメ

災害時に活躍できる福祉事業所になる！

福祉事業所は消防計画をつくり、訓練も重ねています。

しかし、東日本大震災はじめ大災害時には  
利用者も職員も大変に困難な状況に追い込まれました。

それは、災害の初期対応はできても、  
長期的に福祉事業を継続するための計画  
「福祉BCP」がなかったことが大きな原因です。

この小冊子では、福祉BCPの内容と、  
BCPを作成しながら  
人づくりを進めるプロセスを紹介します。



# 1. 事業継続計画（BCP）をご存じですか？

## ■災害時も業務を続け、復旧に努める

事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）をご存じでしょうか。法人・施設などが災害などで被害を受けても、重要業務を中断させず、できるだけ早急に復旧させるための計画のことです。

## ■福祉の仕事は待ったなし！

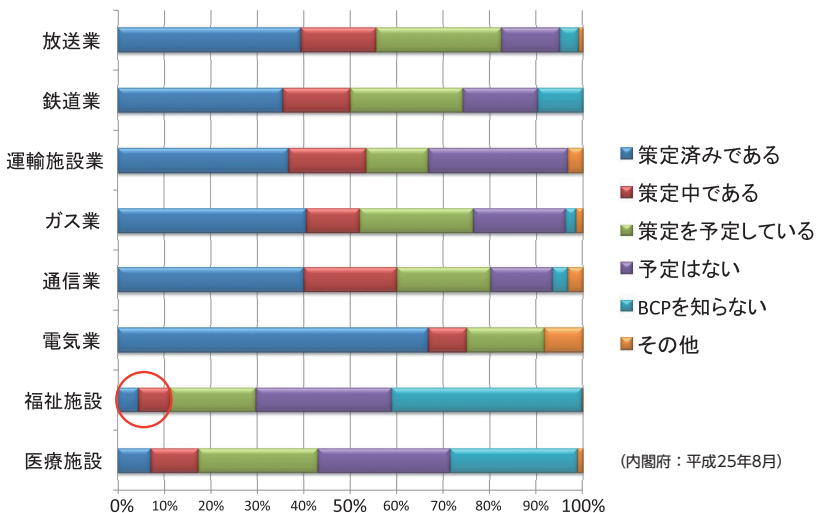
福祉の仕事は災害時にも休むわけにはいきません。東日本大震災後のヒアリング結果からは、災害を想定した事業計画がない状況下で、職員も利用者も疲弊しきっているようすが伺えました。

## ■人を相手にする事業だからこそ

厚生労働省もBCPの策定を推奨しています（障害保健福祉主管課長会議、平成25年2月25日）。しかし、消防計画・防災計画はあっても、被災を想定した事業継続計画を策定している福祉事業者は、他業種と比較しても低い割合にとどまっています。

人を相手にする業界として、しっかりとした対策をとる必要がありそうです。

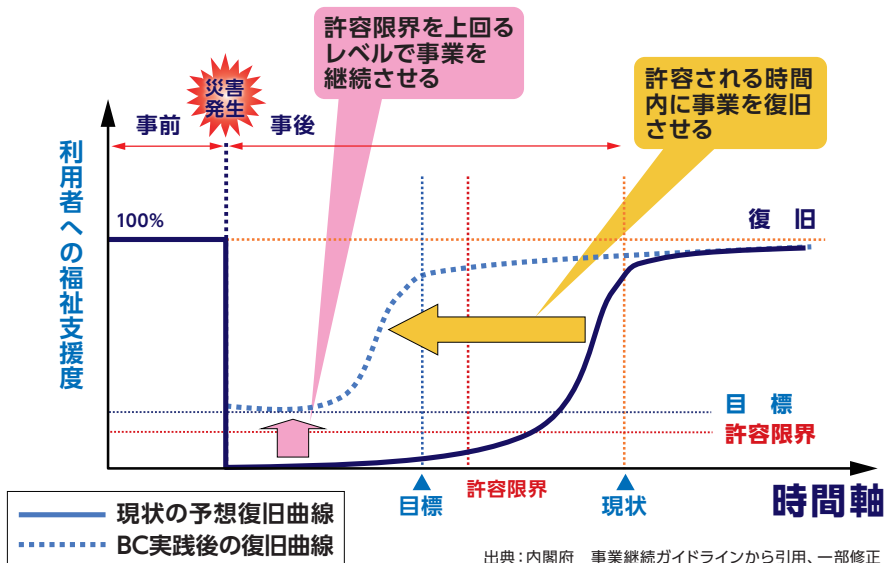
BCPの業種別策定状況



（内閣府：平成25年8月）

## ■利用者のために

下の図をご覧ください。BCPがあることで、災害からの早期復旧と、レベルの高い福祉支援の継続が期待できるのです。



## 災害時の福祉事業者ヒアリング結果から

- 300名もの地域住民が避難してくるんです。水道も電気もガスもトイレもすべてストップ。50名の重症心身障害者を抱える中、受け入れるか否か。いつまで受け入れるのか（入所施設）
- 指定避難所になっていなかったために物資も情報も来なくて困った（入所施設）
- 宿泊機能がない中で利用者の避難対応に迫られた。やむを得ず、一般の避難所に行ったが、利用者は不安定で、一睡もできなかった（通所施設）
- 日中施設に通えないために自宅で暴れたり、不安定になって、家族が耐えられないと。とにかく継続を、早く再開して欲しいという要望が多かった（通所施設）

## 2. 福祉BCP作成の準備をしよう

### ■既存の計画や研修を利用して

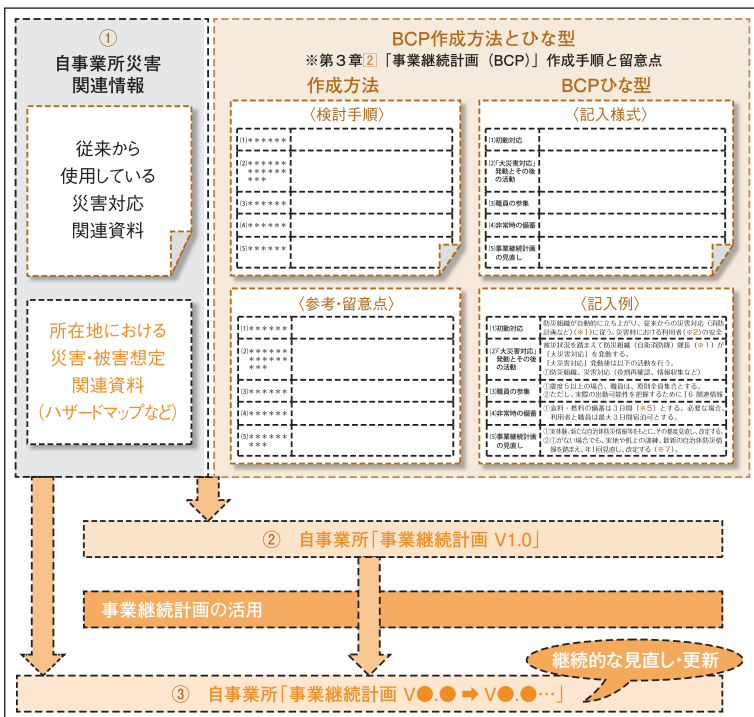
福祉事業継続計画（福祉BCP）を作るには、既存の消防計画を使ってステップアップするのが効果的です。消防計画兼防災・事業継続計画として、統合することも有効です。

BCP作成研修なども有効に活用しましょう。関係者と話し合いながら作ることで、人的連携という無形の防災体制づくりにもつながりますし、後々バージョンアップしていく際にも大きな力となります。

### ■福祉BCP作成の大まかな流れ

既存の消防計画を使ってBCPへステップアップします。

- ①消防計画と被害想定などの自治体資料を用意します。
- ②ひな型（記入例）を参考にしながら、BCP第1版を作成します。
- ③グループワーク、訓練などで見直します。



私たち研究班では、先進事例や現場ニーズの研究により、基礎的な福祉BCPのひな型を作成しました。その内容（目次）と具体的な記入例は次のとおりです。

福祉BCPの内容（目次）	
<b>1.基本方針</b> (1) 事業継続計画（BCP）の目的 (2) 事業継続計画（BCP）策定方針 (3) 被害想定 (4) 避難場所・避難所 (5) 重要業務の区分 (6) 防災組織の担当と任務 <b>2.初動対応（従来からの災害対応）</b> (1) 初動対応時の防災組織（自動立ち上がり）の活動拠点 (2) 発災直後の活動区分 (3) 災害対応（発災直後） (4) 災害対応（発災～数時間） <b>3.「事業を通常通り継続できるか」の判断と対応</b> <b>4.全員移動</b> (1) 対応業務	<b>5.大災害対応</b> (1) 災害対応（発災当日） (2) 福祉避難所の開設、運営（翌日～3日目） (3) 災害対応（翌日～3日目） <b>6.事業継続計画（BCP）の運用管理</b> (1) 基礎学習と訓練 (2) 更新方法 (3) 更新履歴 (4) 「事業継続計画（BCP）策定と活用」を通して確認された課題 (5) 配布先・保管場所 <b>7.関連情報・リスト</b> (1) 避難場所・避難所地図 (2) 非常時持出品リスト (3) 利用者関連リスト (4) 災害時職員参集リスト (5) 緊急時連絡先リスト

〈上記、目次の「1. (5) 重要業務の区分」の記入例〉

区分	緊急度	重要業務名	実施方法	必要な資源	理念・施設の強み・被災体験等を活かして付け加えたい項目
利用者の生命維持・精神安定に係わる業務	SA	情緒安定、安心安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低限必要な人員体制をとる（1人でも工夫して実施）</li> <li>園舎内の安全を確保、又は園庭にテントを張る</li> <li>家族を待ってられる寒暖の対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者対応に必要な職員数</li> <li>安全な室内</li> </ul>	・
	SA	排泄ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低限必要な人員体制をとる（1人でも工夫して実施）</li> <li>羞恥心に配慮する</li> <li>排泄場所の確保</li> <li>清拭、着替え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者対応に必要な職員数</li> <li>施設内トイレ、簡易トイレ、おむつ、布、水</li> </ul>	・
	A	食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低限必要な人員体制をとる（1人でも工夫して実施）</li> <li>調理室使用不可の場合、園庭で炊き出しを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員●名</li> <li>お湯、燃料、調理器具、炊出しセット（被害想定では●日間電気・ガス・水道が使えない）</li> <li>備蓄品（食糧・粉ミルク・水…）</li> </ul>	・
	A	衛生確保（手洗い・うがい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低限必要な人員体制をとる（1人でも工夫して実施）</li> <li>消毒、清拭（羞恥心に配慮する）、着替え、入浴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師</li> <li>利用者対応に必要な職員数</li> <li>水、消毒液、布、コップ</li> </ul>	・

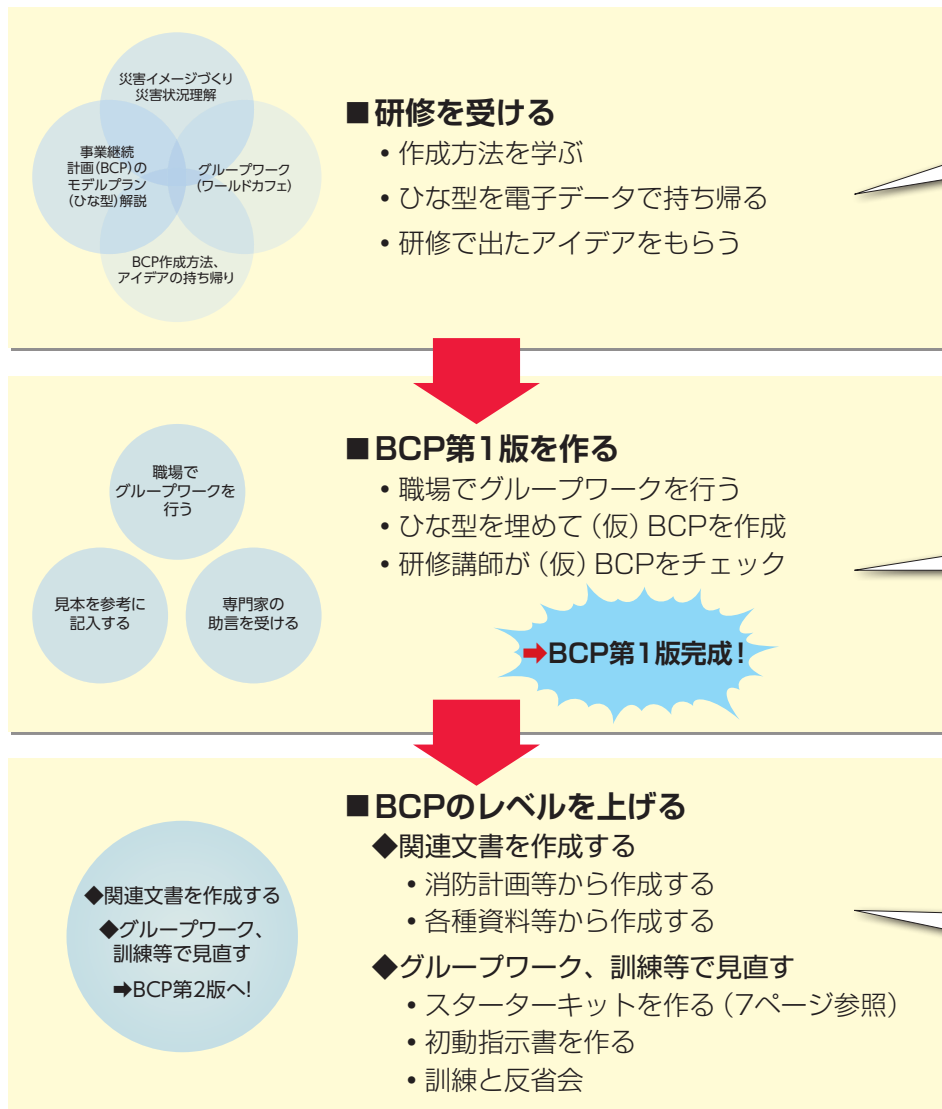
# 3. BCP作成に取り組もう！

準備が整い、作成までの大まかな流れをつかんだら、いよいよ活動開始です。

「計画」と「人」は防災の両輪！

BCPを作りながら人づくりを進めましょう。

## BCP作成のフローチャート



## BCP作成研修

《3時間の標準研修時間割》

- 1 ガイダンス 【25分】 概要説明
- 2 災害イメージづくり 【20分】 災害状況理解
- 3 グループワーク（ワールドカフェ）【60分】  
お茶やお菓子を楽しみながら雑談風に。20分×3セット  
——休憩【15分】——
- 4 共有・共感 【20分】  
他班のアイデアも共有し、持ち帰る
- 5 事業継続計画（BCP）のモデルプラン（ひな型）解説 【30分】  
重要ポイントを解説し、職場での作成方法を説明する
- 6 自助・共助のススメ 【10分】  
質疑応答

マニュアル／BCP作成研修含むセミナーを2015(平成27)年9月に開催します。  
お問い合わせは日本発達障害連盟まで。

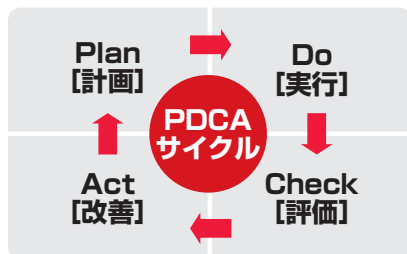
研修でブレインストーミングを行い、  
実際の職場でのグループワークを経て

**BCP第1版**が完成。

ここまで到達したときには、  
すでに職場内に災害時の体制づくりもでき、  
チームワークもより強固になっているはず！



PDCAサイクルで事業継続マネジメントを行います。



「計画」と「人」の継続的レベルアップをめざしましょう。

## 4. さらなるレベルアップをめざして

### ■スターターキットの作成とBCPレベルアップ

災害発生！初動が大事！

しかし、災害時にリーダーがいるとは限りません。

・最初に参集した人は

何をしますか？

・リーダーがいない時は、誰が  
決定・指示するのでしょうか？



誰もがリーダー的な役割を担えるよう、初動の手順を示した指示書と、必要な物が入ったスターターキットを準備し、訓練することが有効です。

BCPをレベルアップするためには、関連文書の作成、グループワーク、リアリティのある訓練などを定期的実施し、BCPの実効性と職員の運用力を高めます。

#### スターターキット



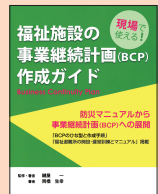
災害対策本部を立ち上げ、初動対応をするために必要な物が入っています。

1. 文書（指示書、帰宅支援マップなど）
2. 情報（ラジオ、充電器、乾電池など）
3. 事務用品（マーカー、模造紙など）
4. その他（水、軍手、マスクなど）

### ■さいごに

「BCPを作りましょう」と言うのは勇気があります。問題が山積する福祉現場で、いつくるかわからない災害に備えて、さらに問題を増やしてしまう。それでも、勇気を出してください。それが被災者からのメッセージです。災害時でも、特に支援を必要とする人々の安全を守るために。

福祉避難所を開設するときの詳細、福祉避難所の指示書、マニュアル、訓練計画などについて詳しく書かれています。ご参照ください。



発行：公益社団法人 東京都福祉保健財団  
著者：鍵屋 一、岡橋 生幸

発行：2015年3月

制作：平成24～26年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業[身体・知的等障害分野])  
「災害時における知的・発達障害を中心とした障害者の福祉サービス・障害福祉施設等の活用と役割に関する研究」班

研究代表者：金子 健  
作成担当：鍵屋 一、柄谷 友香

**連絡先：公益社団法人 日本発達障害連盟**

〒114-0015 東京都北区中里1-9-10/パレドール六義園北402号室

TEL：03-5814-0391 FAX：03-5814-0393